

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 平成29年度 第1回契約監視委員会議事概要

1. 日時

平成29年12月8日（金） 15:00～17:15

2. 場所

日本医療研究開発機構 20階 会議室206

3. 出席者

井上委員長、中原委員、橋本委員、間島委員、室伏委員

4. 説明者

経理部長、経理部契約調整グループ長及び各契約担当者、調達要求部署担当者

5. 議事概要

契約監視委員会規則第5条第2項の規定による構成委員の2分の1以上（5名中5名）の出席を得ており、本委員会は成立していることを確認した。

議事（1）前回の指摘事項に係る状況報告について

前回の委員会で委員よりコメントがあった事項（①より多くの入札が入るよう応札期間を十分に確保することについての要求原課への説明の実施状況②公告情報を広く効果的に届けられるようにするための方策の実施状況）について、経理部より進捗状況の報告があった。

議事（2）平成28年度公益法人に対する支出の公表・点検について

公表・点検に係る概要説明及び点検結果について経理部より報告があった。

議事（3）平成28年度契約状況について

昨年度の契約状況について経理部より報告があった。

議事（4）平成29年度契約状況について（4月～9月）

平成29年4月～9月分の契約状況及び平成29年度における当機構の中小企業者に関する契約の方針について経理部より報告があった。

議事（5）個別契約案件の審議について

選定基準に基づき選定された競争性のない随意契約、一般競争契約のうち一者応札等

の契約5件について点検を行った。契約の妥当性等に関しては特段の問題点の指摘はなかったが、以下のようなコメントがあった。

- ① 専門性の高い特殊な案件は、出来るだけ多くの企業に応札してもらえよう、要求仕様に対応可能な企業の情報収集にも工夫が必要。
- ② 過去の契約実績などを基に調達仕様の特性に沿って応札が期待できる企業の情報を蓄積し、機構内で情報共有することも有益。
- ③ 海外での業務を含む入札案件については、一部再委託にも配慮。
- ④ 事業が複数年度にまたがることが想定される場合の合理的な調達方法を今後検討することも必要。

6. その他

次回の委員会は平成30年3月22日（木）開催予定。